

---

# 関東カルテット サカキジニアス

com

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

関東カルテット サカキジニアス

### 【NNコード】

N5252N

### 【作者名】

com

### 【あらすじ】

ここは隔離都市、東山金融団体が開拓した千葉県の浦安中心にある強制労働施設だ・・・

隔離都市で行われていること、それは地下世界の開拓だつた・・・そして東山金融団体を破壊させようとした天才、?<sup>クロイサギ</sup>?

学生時代は学力がトップクラスで早稲田大学にいった本来なら裁判官になる男だった

しかしある事情で賭博世界に来てしまい隔離都市に連行された不幸な男だ

サカキは隔離都市から脱出し東山金融団体を一回目の崩壊させようとする

そんな事を考えているときにある脱出方法を思いつく・・・  
毎日夜に地下施設労働科3班の班長、仁岸じねんが主催の確変サイコロと言つ隔離都市でしかない特別ギャンブル

ルールは6個の角が丸くなっているサイコロをルーレットの中に投げ込み出た目、ルーレットに入った場所で点数を競う

ゲームは6人が円になり1人が親になる

そして親が赤か黒を選択する、選択したあとはサイコロを投げる  
子は親が出した目より下回つたり親が選択した色以外のところに多くサイコロが入れば負け  
(詳細は作中で)

サカキはそれに目をつけて脱出のために確変サイコロに賭ける・・・  
無事にサカキは脱出してまともな生活に戻れるのか?

## 第一話 僕の名前は？神です（前書き）

いや～関東カルテット第一作、サカキジニアス！！！  
特に言いたいことはありません！！  
ではサカキジニアスをどうぞ

## 第一話 僕の名前は？神です

今は過去、5才の頃だった・・・

僕の名前は？クロイサカキ神

これは奇妙な体験だった、一回死んだのだ・・・違う・・・殺されたんだ

今になつてわかつたのがあれは東山金融団体の仕業による殺人だったのだ・・・なぜ殺したのかわからない、そしてなぜ生きているのかわからない生きているのが原因なのか今に至るまで追われるようになつた

そして僕の今の年齢は25・・・だから20年前の出来事だったのだと昔のことを考えているけど今僕は隔離都市にいる・・・隔離都市とは東山金融団体が人間が連行、拉致されたワケありの人間が労働する場所である・・・

普通の人なら借金が2000万を超えた人が返済のために労働するためになるんだ・・・

いや、2000万円超えた人が連行されて強制労働させられているだけだ・・・

去年の夏にボコボコにされた人たちが隔離都市にきてすぐに戻ったのが驚きだった

普通なら隔離都市にくれば何十年も働くのに数ヶ月で帰つてしまつたのだ

まあ重傷の人間は未だにいるけど・・・

まあ僕がここにいる理由は東山金融団体の人間を殺したこと借金かな？

借金は自分で作ったのではなく釘崎護と名乗った東山金融団体のトツヅの奴に釘崎大富豪で負けてここにいるんだ・・・

釘崎大富豪とはジョーカーを除いたカード52枚のうち39枚が相手に見えているカードでやる大富豪だ・・・  
僕は相手のカードが見えているせいで頭が混乱し疑心暗鬼になり2000万円の罰金をのせられここに来たのだ・・・  
普通の大富豪ならカードを強い順に並べるけどカードが透けているからバラバラにしなければならない・・・  
それも釘崎側で黒服をだされて3人でやつたからカードの内容が読めなかつたんだ・・・

まあ釘崎は去年の冬くらいに山本華鈴と言う能力者にボコボコにされていなくなつてしまつたけど・・・  
その時に得た話だけど東山金融団体の本社の地下室に発電所があるらしく釘崎はその電力を使つたレールガンで殺そうとしたらしい・・・でも逆に殺されそうになつてるけど（笑）

まあ残念だね・・・  
でも僕の方が不幸で残念だ・・・

## 第一話 脱出方法

何も悪くない僕であると残念な僕でもある長所がある、最高の長所・・・それは天才って事だ・・・

僕自身がナルシストなわけでなく記憶したものの大体覚えているわけでもない・・・

天才にも一種類あつて記憶してテストで発揮するのと頭の回転が早くすぐに理解するもの

僕は頭の回転が早い人間、だから数学の問題は最速で答えられる自信はある

嘘だと思つながらこの隔離都市から脱出する方法を探してみよう・・・

脱出方法・・・

僕はある意味馬鹿だつた、なぜ一年間も強制労働させられて考えなかつたんだ・・・マゾなのか？

今の季節は梅雨だ・・・6月つて言えばいいか・・・

まあ考え方・・・脱出方法とやら物を・・・

手段一、自由時間に地下世界に侵入して出口を作る・・・これだとどこに出るかわからないし一日で出れるわけでもない、結果これをやつているといつかバレてしまう

手段二、労働時間に集団で地下世界の出入口へ向かう、簡単に言えばストライキを起こすつて事だ・・・だけどここ千葉県は本拠地で近道で突破しようとする防がれてしまう・・・脱出できる最短ルートなら神奈川県横浜市にある・・・だけど距離は100kmもある、流石に全員が体力が尽きずに行けるわけでもない、結論は普通にやろうとするすると捕まる

手段三、わざと暴行事件を起こして牢屋にまじりそつから脱出する、

これが現実的で牢屋の先には道路がある、奇跡的に窓ガラスがあるため脱出は簡単だ・・・

窓ガラスを割脱出する、その時点では逃走したことがまだバレていない、監視は30分置きだからだ・・・そして駐輪場にある自転車を奪つて逃走・・・だけど逃走したことがバレると指名手配される、そのため一生逃亡生活で暮らしていかなければならぬ・・・結論、天才にはきつい人生になつてしまふ・・・

くだらない逃走ルートを考えているとあるポスターを見つけた、それは労働者のために設けられた労働感謝権一覧と書かれた運命を変えるポスター・・・

1000円	10分外出権
5000円	一泊テレビ部屋権
10000円	3時間自由権
20000円	一日休日権
35000円	3食肉料理権
40000円	一泊VIP部屋権（サウナー、料理込）
60000円	一日外出権

目につけたのは6万円の一日外出権、でも高すぎる・・・  
隔離都市内だけの通貨であるコールは隔離都市が始まつたときは100コール＝100円だったのだが最近は不況なのか100コール＝70円になつている

ここの中では月に1万コール（一万円）が給料なのだが両替するときに7000円になつてしまふ・・・

コールは東山金融団体の経営や地下世界の発展で変わっていくものだから山本華鈴は個人的にはいい人だけどここの人から見たら悪魔みたいなものだ・・・

釘崎が消える前までは100コール＝110円と景気が良かつたの

だが・・・

僕の財産は2千ゴール(1400円)月に1万ゴールを貯めるとなると9ヶ月の時間が必要になる・・・もしもこれ以上経営が悪化したら一年以上はかかるだらう・・・

「は～い皆さ～ん、いつもの楽しみですよ～」3班班長の仁岸じがたが來た・・・

こいつは皆の財産を奪うように娛樂物を売りつけている・・・

「はい、タバコ600円」

「ああ・・・久々のタバコだつ・・・」

「毎度あり～」

タバコ600円・・・地上で買えば440円なのに、そう仁岸は地上と隔離都市を使って利益を得ているんだ・・・まあこれがおかげで今は70円台だけど・・・コールは両替場にいつて円に変えてもらえる、100ゴール何円かは上のモニターに書いてある・・・

「はいっ・・・今日はここまで～」

でも我慢の限界だつ・・・タバコを吸いたい・・・そして仁岸はこの部屋から消え去つた・・・

そして時刻は10時・・・いつもの時間だ・・・そう・・・地上に出れる最高の手段を・・・

「は～い皆さ～ん、確変サイコロの時間ですよ～参加したい人はこつちにきてください」

「よし笠木！～今日も勝つぞ～」

「ああ～！」

確変サイコロとは簡単に説明するとチンチロリンとルーレット合体したやつ?

まあルールは親が赤か黒かを選択してサイコロをルーレットに投げる  
それで親のサイコロの目が出たら子はサイコロをルーレットに投げる  
それでサイコロが親が選択した方に多く入っていればおく  
サイコロの目が親より下回ればその目におおじて払う、上回ればそ  
の分だけもう

あとルーレットに書いてある数字とサイコロの出た目が揃うと3倍  
払いとかある（これはあんまり関係ない・・・）

確変サイコロの名前の由来はゲームの途中で並び目（123456）  
やゾロ目がくるとコールの価値が上昇することから来ている  
僕が見た限りでは100コール＝350円に達した・・・  
まあこの価値の変動を使って儲けるつて言うのも悪くないけど・・・  
「は～いつでは準備が整つたので確変サイコロの始まりです  
ついに始まつた、仁岸の確変サイコロつ・・・

## 第三話 確変ルール（前書き）

昨日はですねチャットに夢中でかけませんでした・・・

## 第三話 確変ルール

確変サイコロのルールは前回で言つたけど詳しいとを言つていい

だからこの？榊が説明しよう、サイコロは普通にチンチロ感覚にしていい

まず出目の一覧を教えよう・・・って言つたが目の中にあるし・・・

技	倍率
ピンゾロ	30倍
並び目	25倍
ゾロ目（6以外）	10倍
半々目	8倍
456目	5倍
勝目	2倍

ピンゾロはみんなわかると思つけど目が全部一つて意味だ  
並び目とはサイコロが6個ある原因で作られたものだ、まあ並び目

とは123456つて意味

ゾロ目はピンゾロの目が一意外つて意味・・・でも6を出したならな

あ・・・

半々とは同じ目の奴が3対3つて意味

456はサイコロ6個の内3個で456が出来ていればいい

勝目とは普通に親より上回るつて意味

んで隣に払い目の一覧がある・・・

技 倍率

6 ゾロ	30倍
四対二	10倍
1 2 3	5倍
負け目	倍払い

4対2は同じ目が4対2つて意味

そして問題なのがこのルーレット・・・実に奇妙なんだ・・・  
このルーレットには赤、黒がある

そして均等的に番号が振られている  
なぜか赤と黒意外に金色のところがある・・・

金色のところは僕も実のところは知らない・・・

均等的に振られている番号は6～36まで振られている  
これは出田の合計と番号があつていれば子は絶対的に親に勝ち親は  
負け目を2倍に出来る

でも隔離都市にいることが原因なのか「つづくだらない賭博でさ  
え楽しく思えてきた（笑）  
しかしこれでゾロ目が出せると言つ根拠がない、これで地上に戻れ  
るつて言つ根拠もない

今更嫌なことを考えているけど田の前には「仁岸から時計回りに親を  
進めていた・・・

「じゃあ俺の番だドンドンかけてみろー」自信満々のクズだ・・・  
1000 1000 5000 1000 2000  
「仁岸は5000ゴールをだし謎の事を言つた・・・  
「私には絶対負ける・・・みんなに勝っても私には勝てない・・・  
「仁岸班長・・・」のサイコロは何千通りと無限に確率があるんで

すよ

「私には超能力みたいなのがあるんだよ・・・直感つ・・・なぜか勝てると自信があんだよ・・・」

あいつの言つとおり、6面サイコロ6個を投げたらズバッといつて約7800通りある・・・

しかも金穴もあるし番号もある、しかも赤か黒があるからそれを含わせれば本当に無限である・・・

なのに仁岸の自信はどっから湧いてくるのか・・・

「信じないのであればさうに5000コールを足そう・・・」

そう言つて仁岸は本田最高金額の10000コールを出した・・・

「あ・・・精々頑張れ・・・」

## 第三話 確変ルール（後書き）

どーも、今回の班長の仁岸を大概にしないようにキャラをいじった  
ら何となく利根川と一条が混ざっている性格になってしまった・・・  
まあ隔離都市の次にもしつかり物語があるので楽しみにしてください

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5252z/>

---

関東カルテット サカキジニアス

2011年12月21日18時52分発行